



上北谷 笑楽好 だより No.4

チャレンジ通信

いじめ見逃しゼロ 県民運動 いじめをしない・させない・見逃さない

令和5年7月21日

「笑顔いっぱい・楽しさいっぱい・みんな大好き」の上北谷笑楽好に

安全に、健康に。そして、心に残る夏休みに。

校長 藤ノ木 昌史

授業日数73日（1年生は72日）の1学期が終了しました。入学式から始まり、様々な行事・活動を経験し、どの学年の子どもにも、それぞれの学年にふさわしい落ち着きや成長を感じます。上北っ子のみんなは、目標に向かって頑張れる子ども達です。みんなのために仕事にしっかり取り組める子ども達です。1学期の様々な活動に取り組む子ども達の姿を見て、改めて誇らしさを感じています。



「着衣泳」授業の様子

34日間の夏休みに入ります。ご家庭や地域の中で、自分のよさを一層伸ばし高める夏休みになるよう、「チャレンジ」してくれることを期待しています。

夏休みを迎えるにあたっては、安全指導・生活指導を行い、めあてを立てたり注意することを確認したりしました。ご家庭では、折に触れ、「夏休みの生活表」等を振り返り、子ども達の「チャレンジ」する気持ちが高まるよう、励ましていただくことをお願いいたします。

見附市では、全市の幼保・小・中学校で「四つ葉運動」を展開しています。

「あいさつ」「花と緑」「読書」「お手伝い」の4項目への取組を大切にして、子ども達の豊かな人間性を育てていく取組です。

先般行った「見附市共通アンケート」から関連項目の回答結果を見ると、右のようになりました。

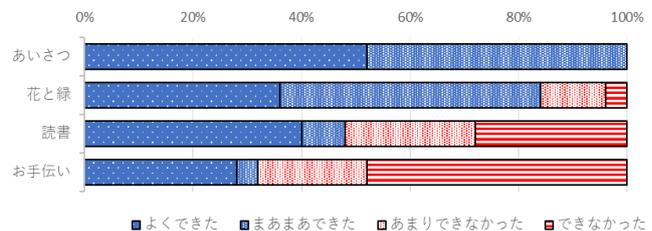
「あいさつ」「花と緑」は、よい傾向にあります。

「お手伝い」への意識・取組がとても落ち込んでいるのが目立ちます。

昨年度の学校だよりでも、お手伝いについて書きました。「お手伝い」には、生きる力を高める効用があります。今年は、夏休み前の事前指導の中で、全学級が「お手伝い」について強調して指導を行いました。

お手伝いを通して、子ども達の生きる力がワンランクあがる、心に残る夏休みになってくれることを期待しています。

R5前期 見附市共通アンケート 上北谷小 「四つ葉運動」関係項目 児童アンケート結果



- ① 親子のコミュニケーションを深める
- ② 自主につながる
- ③ 責任感が身に付く
- ④ 自分で考える力が付く
- ⑤ 自己肯定感を育む

<ベネッセHPより>



7月の行事 アルバム

7月4日 クラブ活動：「卓球バレー」体験

地域の指導者を積極的に招いて、クラブ活動を進めています。今回は、スポーツクラブが、新潟県卓球バレー協会の皆様を指導者にお迎えして、パラスポーツの一つ「卓球バレー」を体験させていただきました。

- ・「卓球バレー」は卓球台から5.7cm上げたネットの下を金属球が入った音の鳴るボールを転がして、打ち合う競技です。
- ・1チーム6人制で、バレーボールのルールに準じています。
- ・いす、または車いすに座った状態で卓球台を囲み、ボールを木の板のラケットで相手コートに打ち返します。

簡単なようで、なかなか奥深く楽しい競技を、子どもたちは笑顔で挑戦しました。



「ちょこボラ」 ありがとうございます



ちょこボラ「読み聞かせ」

ちょこボラ「プール監視」

今年度PTA事業として始めた、子どもたちの学習支援「ちょこボラ」に多くのご協力をいただき、子どもたちも張り切って、また安心して学習活動に取り組むことができています。

プール監視を45分、朝の読み聞かせを15分…、皆さんご多用の中でご都合をつけてくださり、感謝申し上げます。

夏休み中、児童に大きな事故や病気・けがなどが起きてしまった場合、ご連絡をお願いいたします。詳しくは、「上北メール」「tetoru」で配信する内容をご確認ください。

◎平日：学校電話0258-61-1150

◎夜間、休日：①教頭 ②校長（この順位で）

◎閉庁日：見附市教育委員会 0258-62-1700（代表）

(8/9~8/16) ・児童に関わる緊急連絡：学校教育課

・校地校舎、施設設備に関わる緊急連絡：教育総務課

※ 学校は、8月9日（水）から16日（水）を閉庁日として、
土日・祝日を含むその間、無人化になります。ご承知ください。

子どもの「こころ」にご注意を

新型コロナウイルス感染症への対策が緩和され、流行前に近い生活が送られるようになっています。しかし、長く続いた感染対策、行動の抑制等が、大人が想像する以上に子どもに大きなストレスとなって、子どもの不調の要因になっているという話も聞きます。心の不調は、時間をかけてじわじわ現れるという話も聞きます。

夏休み中、「何か様子が違う」というようなことがあったら、そのままにしないでください。相談機関を紹介するチラシを配付しました。もちろん学校に相談いただいても結構です。子どもをしっかりと見守ってあげてください。